

講師出講承諾書

住 所
氏 名 久志本 宏美

① (研修事業者名) 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校

② (研修実施予定期間) 平成30年7月3日 ~ 平成30年10月2日

③ (予定定員) 15 名

私は、上記①の研修事業者が②の期間に開講を予定している介護職員初任者研修について、自らの担当する科目及び項目について、別添研修カリキュラムの日程のとおり、講師（修了評価者）として出講することを承諾します。また、研修の担当講師等として、三重県介護職員初任者研修事業者指定要綱第18条の規定に基づき、当該研修事業者のホームページで情報公表することに同意します。

番号	担当科目、項目名称	備 考 (補助講師である場合はその旨記載する)
1	(1) 職務の理解①多様なサービスと理解②介護職の仕事内容や働く現場の理解 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 (3) 介護の基本①介護職の役割、専門性と多職種との連携②介護職の職業倫理③介護における安全の確保とリスクマネジメント④介護職の安全 (5) 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション (9) ところとからだのしくみと生活支援技術 ア基本知識の学習 ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するところのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 イ生活支援技術の講義・演習 ④生活と家事 ⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗の関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこ	

	<p>ろとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護</p> <p>ウ生活支援技術演習 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習</p> <p>(10) 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修</p>	
--	--	--

※ 実技演習を要する科目・項目にあつては、受講生 20 名につき 1 名以上の補助講師を配置すること。また補助講師は、講師一覧表（第 1－5 号様式）に記載のある講師から選定すること。

講師出講承諾書

住 所
氏 名 田中 勇仁

① (研修事業者名) 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校

② (研修実施予定期間) 平成30年7月3日 ~ 平成30年10月2日

③ (予定定員) 15 名

私は、上記①の研修事業者が②の期間に開講を予定している介護職員初任者研修について、自らの担当する科目及び項目について、別添研修カリキュラムの日程のとおり、講師（修了評価者）として出講することを承諾します。また、研修の担当講師等として、三重県介護職員初任者研修事業者指定要綱第18条の規定に基づき、当該研修事業者のホームページで情報公表することに同意します。

番号	担当科目、項目名称	備考 (補助講師である場合はその旨記載する)
1	(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術 イ 生活支援技術の講義・演習 ⑤快適な居住環境整備 と介護	
2		
3		
4		
5		
6		
7		

※ 実技演習を要する科目・項目にあっては、受講生20名につき1名以上の補助講師を配置すること。
また補助講師は、講師一覧表（第1-5号様式）に記載のある講師から選定すること。

講師出講承諾書

住 所
氏 名 山下 千浩

① (研修事業者名) 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校

② (研修実施予定期間) 平成30年7月3日 ~ 平成30年10月2日

③ (予定定員) 15 名

私は、上記①の研修事業者が②の期間に開講を予定している介護職員初任者研修について、自らの担当する科目及び項目について、別添研修カリキュラムの日程のとおり、講師（修了評価者）として出講することを承諾します。また、研修の担当講師等として、三重県介護職員初任者研修事業者指定要綱第18条の規定に基づき、当該研修事業者のホームページで情報公表することに同意します。

番号	担当科目、項目名称	備考 (補助講師である場合はその旨記載する)
1	(6) 老化の理解 ①老化の伴うところとからだの変化と日常 ②高齢者と健康 (7) 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うところとからだの変化と日常生活④家族への支援 (8) 障がいの理解 ①障がいの基礎的理解 ②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かわり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、かわり支援の理解	

※ 実技演習を要する科目・項目にあっては、受講生20名につき1名以上の補助講師を配置すること。
また補助講師は、講師一覧表(第1-5号様式)に記載のある講師から選定すること

講師出講承諾書

住 所
氏 名 鈴木 夕香子

① (研修事業者名) 鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校

② (研修実施予定期間) 平成30年7月3日 ~ 平成30年10月2日

③ (予定定員) 15 名

私は、上記①の研修事業者が②の期間に開講を予定している介護職員初任者研修について、自らの担当する科目及び項目について、別添研修カリキュラムの日程のとおり、講師（修了評価者）として出講することを承諾します。また、研修の担当講師等として、三重県介護職員初任者研修事業者指定要綱第18条の規定に基づき、当該研修事業者のホームページで情報公表することに同意します。

番号	担当科目、項目名称	備 考 (補助講師である場合はその旨記載する)
1	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ① 介護保険制度 ② 医療との連携とリハビリテーション ③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	

※ 実技演習を要する科目・項目にあつては、受講生20名につき1名以上の補助講師を配置すること。
また補助講師は、講師一覧表（第1-5号様式）に記載のある講師から選定すること